

研究課題：無症候性蛋白尿における巣状分節性糸球体硬化症予測因子の臨床的検討

1. 研究の目的

小児の無症候性蛋白尿（ASP）の原因は多彩だが、組織像が巣状分節性糸球体硬化症（ASP/FSGS）の場合は二次性が多いため、その予測因子を知ること。

2. 研究の方法

2003年6月1日～2019年10月31日に当院を受診し、ネフローゼ症候群（NS）を呈さず、先天性腎尿路奇形も除外したASPで、初回腎生検時後6か月以上経過観察しえた児を対象とし、後方視的に検討する。

3. 研究期間

倫理委員会で承認された後～2019年12月31日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

本研究の内容に関しては後に学会または誌上で発表し、公表する。

6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター 腎臓科 医長 渡邊 佳孝

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2019年12月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）